

## 平成 27 年 2 月 5 日 教育委員会会議録

- 1 日 時 平成 27 年 2 月 5 日(木) 午後 2 時 00 分～午後 3 時 45 分
- 2 場 所 市役所 10 階 委員会開催室
- 3 出席委員 金村勲委員長、須賀まり子委員、無着道子委員、徳永正靱委員、後藤恒裕教育長
- 4 出席者 江川隆教育部長、土田郁子管理課長、土田亮一管理課施設整備室長、吉田勝彦学校教育課長、阿部謙一社会教育青少年課長、細谷正弘スポーツ保健課長、須藤睦典少年自然の家所長、安達正敏図書館長、佐藤文弘学校給食センター所長、西村恵美子栄養管理室長、荒井秀利商業高等学校事務長  
事務局（管理課職員）

### 会議次第

- 1 開 会
- 2 前回会議録承認
- 3 議 案  
議案第 2 号 市議会の議決を経るべき事案に係る市長への意見の申出について
  - 1 平成 27 年度教育費当初予算について
  - 2 山形市立小学校及び中学校の施設の開放に関する条例の一部改正について
- 4 そ の 他
- 5 日 程 等
  - (1) 教育委員の日程について
  - (2) 教育委員会主催（共催）の行事予定について
- 6 閉 会

### 会議録

- 1 開 会 金村委員長
- 2 前回会議録承認
- 3 議 案

委員長・・・議事に入ります。はじめに議案第 2 号市議会の議決を経るべき事案に係る市長への意見の申出について、説明をお願いします。

管理課長より、議案第 2 号について、市議会 3 月定例会に、平成 27 年度教育費当初予算について並びに山形市立小学校及び中学校の施設の開放に関する条例の一部改正についての 2 件の議案を上程するため、山形市教育委員会の権限に属する事務の委任及び専決に関する規則第 2 条第 6 号の規定により、市長へ意見を申し出ることについて議決を求めようとする旨説明があった。

はじめに、管理課長より、議案第2号-1 平成27年度教育費当初予算について、附属資料に基づき概要の説明があった。その後、管理課長より管理課分当初予算の説明を行い、質問を受けた。

須賀委員・・・小・中学校の玄関オートロック設置工事について、平成27年度は2校分の予算を計上しているが、他校の設置状況はどうなっているのか。

管理課長・・・オートロック設置済み校は、小学校16校、中学校9校、未設置校は小学校20校、中学校4校となっている。オートロック設置工事は、職員室が2階にある学校から、実施している。

須賀委員・・・なるべく早く全校に設置してほしい。

無着委員・・・六中のプール循環設備入替工事について、他校も定期的にする工事なのか。何か不具合があるための工事なのか。

施設整備室長・・・プール循環設備は、プールの水を循環させ清潔に保つための設備であるが、循環器本体がスチール製のため、劣化して水の循環時に管が破れたりする。いまのところ定期的というわけではなく、壊れたら対処することとしている。

須賀委員・・・小学校2校のアスベスト分析・濃度測定業務委託、中学校の教室内空気中化学物質検査について、どういう計画で行っているのか。

管理課長・・・アスベスト分析・濃度測定業務委託については、3年に一度の定期点検においてアスベストが含まれている可能性があるという指摘を受けた場所に対する対応である。今回の指摘場所は体育館の機械室等、児童に影響を及ぼす場所ではない。教室内空気中化学物質検査は、中学校において平成27年度に校内LAN用パソコンを新規リース契約する予定となっており、その影響の有無を確認するための検査である。

委員長・・・上山明新館高等学校農業教育振興協議会負担金とあるが、山形市との関わりをお聞きしたい。

管理課長・・・山形市の西山形地区にあった柏倉門伝高等学校が上山農業高等学校に統合され、その上山農業高等学校が上山高等学校と統合して創立されたのが上山明新館高等学校となっている。その経緯から、山形市と上市市が農業教育の振興のため9万円ずつ負担している。

委員長・・・技能技師自家用車公用使用関連経費について、お聞きしたい。

管理課長・・・公民館等においては公用車の配置があるが、学校には公用車の配置がない。技能技師自家用車公用使用関連経費とは、学校技能技師は学校と教育委員会との連絡業務があるため、技能技師の自家用車を借上げし、公用で使用するための費用弁償旅費と自動車損害保険料である。

社会教育青少年課長より、平成27年度当初予算の説明を行い、質問を受けた。

須賀委員・・・AED の賃借料が、1ヶ所3万円単価での予算となっているが、これは電池切れ等のメンテナンス込の金額なのか。

スポーツ保健課長・・・AED の賃借については、全庁的に健康課を通し長期継続のリース契約となっている。その契約の中に、メンテナンスも含まれており電池切れはないよう点検している。

須賀委員・・・公民館の太陽光発電設備設置工事の予算があるが、設置後売電はしないのか。

社会教育青少年課長・・・公民館の太陽光発電設備設置の目的が震災等で停電した場合、避難所としての機能を保つ最低限の電力を発電することとなっている。13時間分位蓄電できるが、大きな電力を使用するものには対応できない。売電できるような電力量ではない。

スポーツ保健課長より、平成27年度当初予算の説明を行い、質問を受けた。

須賀委員・・・ダニアレルゲン検査の予算があるが、毎年実施しているのか。毎年二次検査が10校位あるのか。

委員長・・・検査50校の内訳を聞きたい。

スポーツ保健課長・・・検査は、各学校における和室で実施している。毎年ほとんどでていない。出ても二次検査の段階でクリアしている。小・中学校(小・中併設校2校有)49校と山形商業高で50校である。

徳永委員・・・山形県スポーツ振興21世紀協会が公益社団法人化、モンテディオ山形が株式会社化したため予算の編成が変わった部分の説明をもう少し詳しく聞きたい。

スポーツ保健課長・・・山形県スポーツ振興21世紀協会への補助金はもともとモンテディオ山形の強化のためのものである。山形県スポーツ振興21世紀協会は公益社団法人となったため、今までどおり山形県スポーツ振興21世紀協会へ1,800万円補助金交付すると税制の問題があり、モンテディオ山形への強化費として株式会社モンテディオ山形へ流用して使うことができない。そのため平成27年度から、山形県スポーツ振興21世紀協会へアカデミーの運営費として7,000万円の補助金の交付、株式会社モンテディオ山形へ1,100万円の正会員会費を支払う予算編成となっている。

徳永委員・・・モンテディオ山形へ負担は、J1に昇格しても今までと変わらないのか。

スポーツ保健課長・・・山形市からの支出はトータルでは、平成26年度と同額である。県内の市町村については、市町村政連絡協議会を通して市が106万円、町村も皆同じ金額を補助している。山形市と天童市と鶴岡市だけがそれに上乗せしている。平成27年度は山形市としては、それがモンテディオ山形に直接届くような仕組みにしている。

教育部長・・・J1に復帰して負担を増額という声も確かにあるとは思いますが、山形市と

しては5年前にJ2からJ1に昇格した時に、700万円増額した。その後3年J1で闘い、J2に降格したがJ1に昇格してがんばってほしいという願いからその時は減額せずずっと1,800万円負担してきた。その経緯から、このたびJ1に復帰したが、今までどおりの金額の負担と考えているところである。

少年自然の家所長より、平成27年度当初予算の説明を行い、質問を受けた。

委員長…利用者数は、どうなっているか。

少年自然の家所長…平成26年12月末現在で昨年と比較すると、4,000人位減っている状況である。来館している団体数は、あまり変わっていないので、児童の実人数が減っているためと思われる。

図書館館長より、平成27年度当初予算の説明を行い、質問を受けた。

須賀委員…インターネットで検索や予約ができるようになり、とても便利になったが、インターネットデータ検索パソコン賃借料が、昨年と比較し1/3になっているが、今までと同じ仕事をこなせるのか。

図書館館長…レファレンス室に設置している市民が利用するパソコンの賃借料であるが、契約実績にあわせた予算額とし、減額になった。

学校給食センター所長より、平成27年度当初予算の説明を行い、質問を受けた。

須賀委員…学校給食の食材放射性物質検査は、いつまで続けるのか。

学校給食センター所長…学校給食の食材放射性物質の検査に関しては、いつまでで終息という基準がないため、当面は継続していくべき事業と考えている。

委員長…過年度の給食費の未納対策について聞きたい。

栄養管理室長…資料は11月末現在の未納額であるが、平成24年度分・平成25年度分未納額とも少しずつではあるが納付になっているので11月末現在は減っている。平成17～21年度まで、全納されたケース等もあり、再々催告位までやっている一定の成果は出ている。平成25年度の納付率は、99.85%まであがっており学校との連携で未納対策はたいぶ進んだ。

委員長…ここ何年かの未納対策の成果が出て、未納額が減ったことはすばらしいことである。

商業高等学校事務長より、平成27年度当初予算の説明を行い、質問を受けた。

委員長…商業高等学校に司書教諭はいないのか。

商業高等学校事務長…司書教諭はいる。司書教諭ではなく、図書館司書の賃金である。平成26年度は、嘱託職員として2人雇用していたが、嘱託職員の業務を全庁的に見直ししたため、平成27年度から臨時職員としての雇用となる。

学校教育課長より、平成27年度当初予算の説明を行い、質問を受けた

須賀委員・・・在住外国人等日本語習熟支援講師等謝金について、これだけでは日本語の日常会話は習得できても勉強までついていけないのではないか。大学生ボランティアが学習支援しているように、学校ごと地域ごとに退職した先生等のボランティアで学習支援していく方法はないのか。

学校教育課長・・・家庭への支援を含めて、なかなか苦慮しているのが正直なところである。通訳の方を介してでないと、親御さんへの話がうまく伝わらないこともある。今後提案されたことをはじめとし改善できる方策を考えていきたい。

須賀委員・・・ALTについて、1年契約としているようだが、最初から2年もしくは3年契約とはしないのか。

学校教育課長・・・原則毎年契約更新で、3年までは延長できると最初から話している。そのやり方で今まで混乱はない。問題があっても、市側から1年で帰国を促すことができないシステムとなっている。

須賀委員・・・スワンヒルの短期交換留学のように隔年でやっている事業について、この資料では前回事業費との比較ができない。追加資料がほしい。

無着委員・・・言語障がい児・情緒障がい・知的障がい教育研究会負担金は具体的には指導して下さる先生方の勉強会等への負担金なのか。

学校教育課長・・・全国・県・山形市の組織があり、様々の情報交換や研修ができるような仕組みになっている。負担金については、情緒障がい等の学級がある学校数に決まっている単価をかけて算定している。

無着委員・・・情緒障がいの負担金が多いのは学校数が多いからか。

学校教育課長・・・現在山形市においては、知的障がい学級と情緒障がい学級の学校数は同じくらいである。全国的に見ると情緒障がい学級が少ないため、研究会の運営上、1学校の単価が高く設定されている。

委員長・・・山形市から放課後児童クラブへの補助金額はわかるか。

社会教育青少年課長・・・こども福祉課で担当しているので、金額は把握していない。

委員長・・・今後の放課後児童クラブと放課後こども教室の方向性をどう考えているのか。

社会教育青少年課長・・・昨年5月に国において放課後子ども総合プランが示され、学童保育を拡大する目的で放課後子ども教室と放課後児童クラブの一体的運用、学校現場での一層の促進をしていくことになった。しかし、現実的に厚生労働省と文部科学省の管轄は変わらず、文科省からの補助金も、県に確認してもこれまでと変わらない姿勢であると感じており、放課後子ども教室については、学童保育の運営を圧迫しない形で平成27年度も平成26年度と同様の内容で実施していく考えである。

り、今後とも国・県の動向を把握しながら慎重に実施していく。なお、庁内的には3月に放課後子どもプラン運営協議会を関係課、関係団体と開催して、情報共有しながら進めていく。

委員長…その他質問は、何かありませんか。議案第2号-1を承認してよろしいでしょうか。

(各委員、「はい」の声あり。)

委員長…それでは、議案第2号-2 山形市立小学校及び中学校の施設の開放に関する条例の一部改正について、説明をお願いします。

管理課長より、第五中学校の改築に伴い、同校の特別教室の一部を市民に開放するため、山形市立小学校及び中学校の施設の開放に関する条例を一部改正する旨、説明があった。尚、小学校における特別教室の開放はこれまで行っていたが、中学校における開放は第五中学校が初めてとなる。

委員長…何か質問は、ありませんか。議案第2号-2を承認してよろしいでしょうか。

(各委員、「はい」の声あり。)

#### 4 その他

委員長…その他ですが、何かありますか。

(各委員、事務局より「なし」の声あり。)

#### 5 日程等

管理課長から、平成27年2月6日から平成27年3月31日までの日程、行事予定について説明があった。

#### 6 閉会 金村委員長